

Year No 79

現用

業務公文簿

野島埼燈台

599861

国立公文書館

分類

③ ④

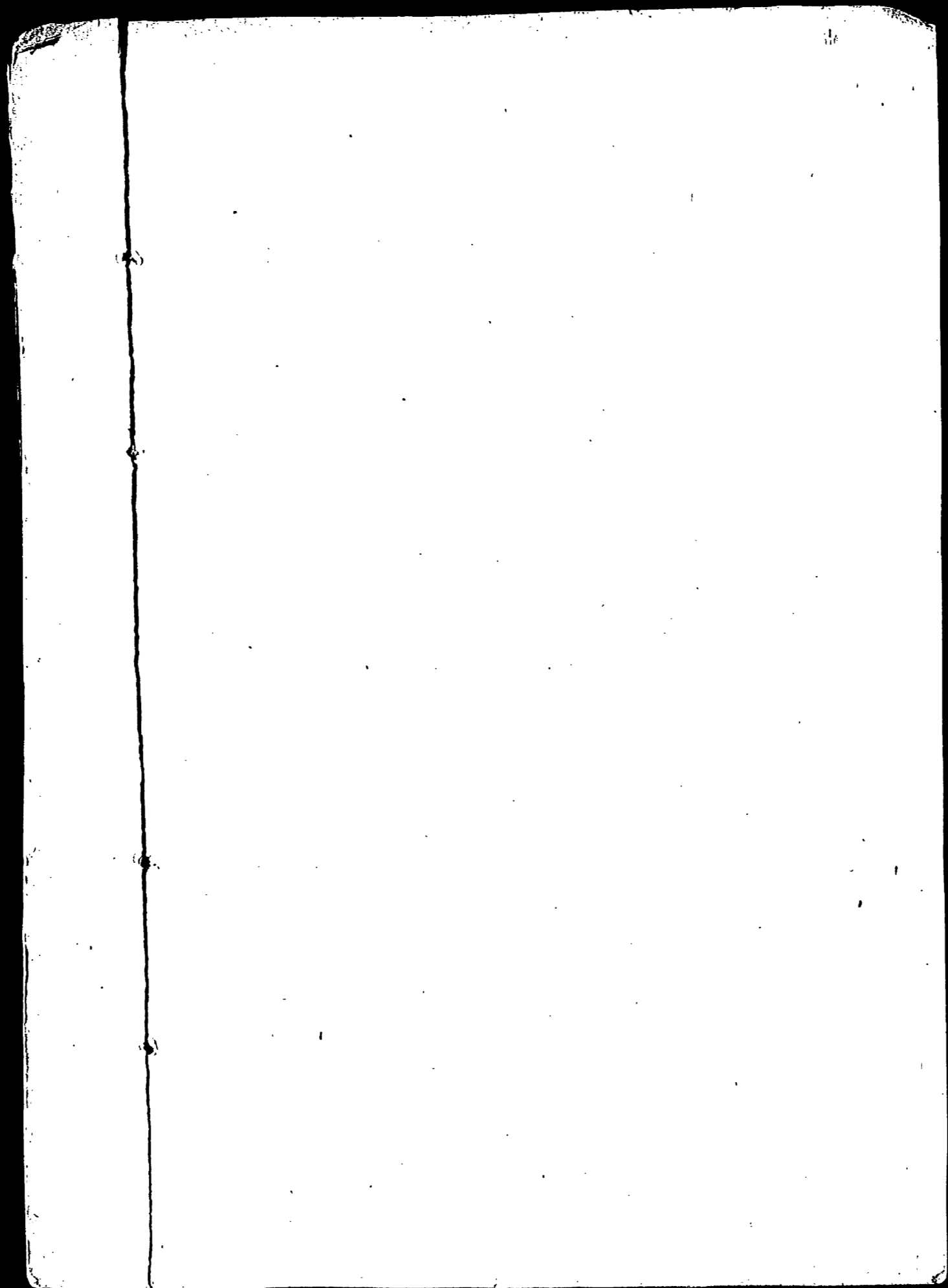
3 A

配架番号

15

56-27





昭和二十年

番	件	名
第一號	休職者、留守宅調査、件	
第二號	定期増俸、件	
第三號	特別賞与、件	
第四號	無線電信日誌抄録提出、同スル件	
第五號	技術員採用、同スル件 (里貝技術員、分)	
第六號	岡野標識、技手出療、同スル件	
第七號	欠、件	
第八號	在郷軍人軍籍事項調査、同スル件	
第九號	岡野標識、技手入營、同スル件	
第一〇號	敵襲、依、被害防遏、同スル件	
第一一號	神尾標識、技手履、事項異動、同スル件	

第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	第 七 號	第 八 號	第 九 號	第 十 號	第 一 十 一 號	第 一 十 二 號	第 一 十 三 號	第 一 十 四 號	第 一 十 五 號	第 一 十 六 號	第 一 十 七 號	第 一 十 八 號	第 一 十 九 號	第 二 十 號

海
務
院

第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	第 七 號	第 八 號	第 九 號	第 十 號	第 一 十 一 號	第 一 十 二 號	第 一 十 三 號	第 一 十 四 號	第 一 十 五 號	第 一 十 六 號	第 一 十 七 號	第 一 十 八 號	第 一 十 九 號	第 二 十 號
國民學校初等科卒業届																			
入學届																			
年度未費手ノ件																			
波浪観測資料提出方ニ関スル件																			
俸給支拂澄明書(岡野櫻森投手分)																			

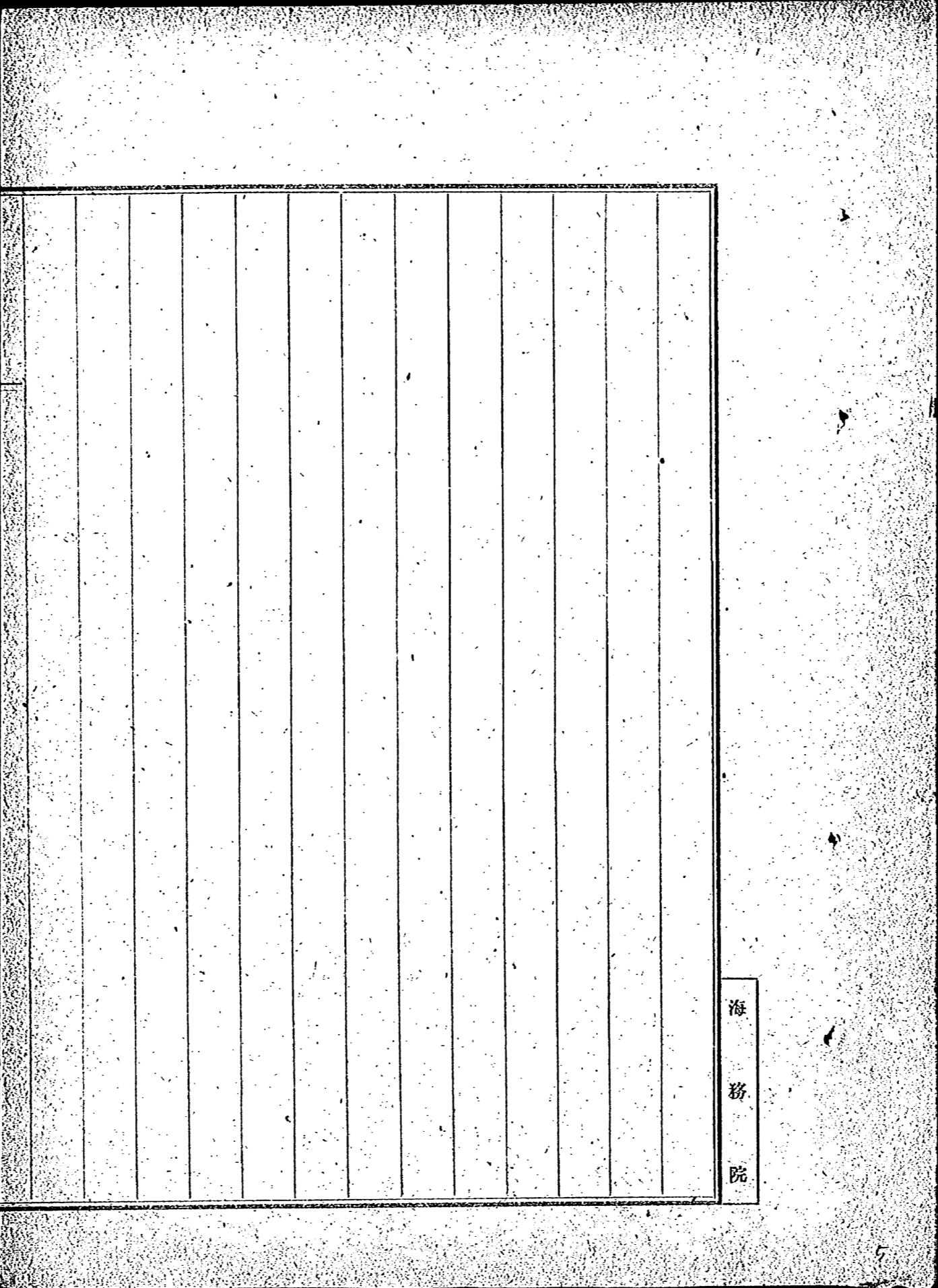
共
一
號

第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號

共第一號

海
務
院

裏
面
白
紙



海務院

裏面白紙

燈業才五八號

昭和二十年一月廿二日

通 牒

業務課長

野島燈臺長 殿

休職休務者、留守宅調査件

元貴臺在勤 休職者 休務者 休務者 松浦志 対三年末賞與

支給方詮議 セレ候處 之が送金先承知致度

付右家族任所並之が受領者名等折返

回報相成度

第一號

裏面白紙

裏面白紙

燈業第四四號

通牒

昭和二十年一月四日

野島崎燈台長 業務課長

定期增俸一件

昭和十九年一月拾日

昭和十九年十二月三十一日附左記ノ通牒令相成候ニ付了知相成度

記

給一級俸

標識技手

根岸祥男

給月俸

給五級俸

神尾武彦

給月俸

岡野忠雄

第

二號

通 達 昭和二十年一月二十六日



所 長 殿

工 務 課 長
工 務 課 長

無線電信無線電話日誌抄録提出ニ関スル件

右ニ関シ現在迄ノ記載例ヲ検討スルニ改善等ハ参考意見等皆左ノ點
懸ニ付目今之ガ提出ハ停止スルモ差支ナキコトト相成候様左記各項
了知ノ上處相成候

記

一 現時無線電信運行ノ現狀ニ照シ通信從事者ノ業務上又ハ技術上ノ
参考等ハ改善意見ハ有力文書又ハ便宜ノ方法ニ依リ報告ノコト

第 四 號

ニ 各種戰時規定ノ通信方式等ノ改變頻繁ナル現狀ニ付テハ之ガ取扱

ニ関シ妥當アリタルトキハ細大ノ別ナク本局經由通信局宛照會ノ
コト

三 無線電信無線電話検査ノ結果ニ付検査官ヨリ指示ヲ受ケタルトキ
ハ其ノ事項及措置願末ヲ直ニ報告ノコト

親展

燈臺局 共第十五號ノ二

燈業第二九四號

通牒

昭和二十年二月十日

暗部

業務課長

野島崎燈臺長 殿

技術員採用ニ關スル件

對房野第一號（二月二十日）

本件上申ノ處別紙ノ通發令相成全日附貴台在勤ヲ命ゼラレ候條
辭令交付方取計相成度

第五號

裏面白紙

身元保證書

本籍地 千葉縣安房郡白濱所下沢三二一番地

現住所 右

合

里

見

敏

子

大正十四年三月二十四日生

右者貴局雇員ニ御採用相成候上ハ奉職ヨリヨリ五年以內ニ生ジタル本人身上ニ因ル事故ニ付テハ独者ニ於テ一切引受可申ハ勿論故意又ハ過失ニ基ク行為ニ因リ莫局ニ対シ御損害相抵候節ハ直ニ賠償ノ責ニ任ジ可申候也

昭和二十一年一月二十日

本籍地 千葉縣安房郡白濱所^{本所}白濱字島崎四九九番地

五號ノ親住所

右

合

身元保證人

漁業

高

木

長

松榮

明治五年五月五日生

燈臺局長 石村田富士助殿

歸着屆

昭和二年二月十九日

野島崎燈台

標識技手 岡野岩雄

燈臺局長 本林田富士助 殿

一 歸着月日時

二月十九日十四時

一 出勤月日時

二月二十日六時

海務院

裏面白紙

裏面白紙

燈臺局 共第十五號ノ二

通牒 昭和二十年一月十七日

業務課長

野島 琦 燈臺長 殿

岡野 標 識 技 手 出 療 ノ 件

對昭和二十年一月六日副申

本件三ヶ月間出療方認可セラル

追而代員派遣ノ見込ミナルモ各所共極度ノ缺員中ニシテ急速派

遣困難ニツキ代員到着迄差繰勤務方努力相成度

第六卷ノ内



第六號ノ内

電信部
電信部
電信部

海軍無線電報送受信紙

受信時間	一〇	九八	指	長	サクラキ	送信機	一〇
受信場所							
送信機							
受信機							
受信時刻							
送信時刻							
受信電圧							
送信電圧							
受信電流							
送信電流							
受信電力							
送信電力							
受信電阻							
送信電阻							
受信電位							
送信電位							
受信電周							
送信電周							
受信電波							
送信電波							
受信電長							
送信電長							
受信電幅							
送信電幅							
受信電高							
送信電高							
受信電低							
送信電低							
受信電中							
送信電中							
受信電下							
送信電下							
受信電上							
送信電上							
受信電全							
送信電全							
受信電半							
送信電半							
受信電四							
送信電四							
受信電五							
送信電五							
受信電六							
送信電六							
受信電七							
送信電七							
受信電八							
送信電八							
受信電九							
送信電九							
受信電十							
送信電十							
受信電十一							
送信電十一							
受信電十二							
送信電十二							
受信電十三							
送信電十三							
受信電十四							
送信電十四							
受信電十五							
送信電十五							
受信電十六							
送信電十六							
受信電十七							
送信電十七							
受信電十八							
送信電十八							
受信電十九							
送信電十九							
受信電二十							
送信電二十							
受信電二十一							
送信電二十一							
受信電二十二							
送信電二十二							
受信電二十三							
送信電二十三							
受信電二十四							
送信電二十四							
受信電二十五							
送信電二十五							
受信電二十六							
送信電二十六							
受信電二十七							
送信電二十七							
受信電二十八							
送信電二十八							
受信電二十九							
送信電二十九							
受信電三十							
送信電三十							

因野出原認可
業務本部

ヲカノ
テム
ムロ
ム丸

トウ
マサキ
テウ

裏面白紙

裏面白紙

海務院

出療願

昭和十九年六月六日

野島崎燈臺標識技手岡野岩雄

燈臺局長 市村田富士助殿

一病名 肋膜炎后遺症及神経痛

一發病年月日 昭和十九年七月末

一出療日數 三ヶ月

一出療地 千葉縣印旛郡白井町白井五番地

第六

歸省旅行願

昭和二十年一月六日 野島崎燈臺管理技手 岡野山岩雄

燈臺局長 榑田富士助殿

一 事由

一昨年昭和十九年三月より同年十月迄約八ヶ月間助膜炎ノ爲出瘡之
タルハツノ都度診断書ヲ奉テ手續ヤシ置ニハ然レモ承知ノ通り
其後在快ヲ得テ現在ハ勤務ナリカハ近來特ニ冬期迄汗
液勞等ノ違和ヲ覺テ執務ニ堪ヘ難キ苦痛有ル處
醫師診断ノ後ハ別紙診断書ノ如クニテ當面
執務ニ堪ヘザル之段願上候

一 旅行日數 三ヶ月

一 目的地 千葉縣印旛郡 印旛町 印旛五五番地

號ノ内

診断書

千葉県警察本部白浪町警官伊藤隆夫

昭和二十一年七月

大正二十一年七月十七日生

一 姓名 伊藤隆夫 元父神谷隆夫

一 附記 時々微熱多胸痛頭痛あり依りて七月

内9日静養場より要す

右証明候也

千葉県警察本部白浪町四回官

昭和二十一年七月

伊藤隆夫

印

海務院

裏面白紙

副 申

根岸 祥男

燈基局長 森田 富士助殿

岡野 櫻枝 様 申出 療養 申出 同 申 出

本件別紙、通、願書有之、其、合、技、手、旧、職、口、身、体、異、状、許、へ、店、
 昨、今、於、願、書、通、特、甚、致、為、理、師、診、断、受、言、於、診、断、
 書、面、に、既、後、必、之、助、膜、炎、の、商、務、慎、し、現、在、直、道、宗、符、卷、
 の、取、給、給、と、監、無、状、態、為、ノ、暖、房、設、備、し、得、不、昨、今、各、氣、を、特、
 夜、間、ア、リ、イ、健康者も、可、も、無理、な、不、健、康、者、に、忍、心、得、
 ず、然、有、と、又、日、常、生、活、に、金、程、の、取、給、不、及、に、テ、購、入、極、力、困、難、
 なる、為、ノ、宣、養、撮、取、之、外、に、注、意、ヲ、要、ス、自、然、生、活、ヲ、思、フ、事、不、
 能、得、ル、事、多、ク、同、様、な、状、態、有、目、下、健、康、状、態、に、テ、御、全、
 心、御、内、免、の、神、養、ヲ、要、ス、キ、又、ト、認、メ、ラ、レ、右、給、出、又、無、理、な、事、也、ト、

第 六

思科之云條特出應方御忍可相成友
高合人出條作在勤夫、其名相成、負担過重、相成ハヘラ
差レ線、勤務レ事業遂行上遺憾ナキヲ期スベシ又極力技術
欠トシテ適當ナルモノ物色採用、務出ル等、兼合ノ努力ヲ致スルヲ要ス
本局、種カレテ也、般合付、次方以、各派遣方特、以、論議相成
ル



裏面白紙

海務院

在郷軍人調査票

官職名	標識技手	氏名	神尾武彦		生年月日	大正四年一月七日	
	本籍地		千葉縣安房郡白浜町乙浜四七番地	解任日名		なし	
役種	第一補充兵役	兵役	野砲兵	二等兵	特業		
徵集年	昭和十年	仕官年					
現役	自昭和十年	月	日	(年) (月) (日)			
應召	自昭和十八年十一月十日至昭和十九年七月三十日(八月)						
現役入官部隊							
應召部隊名	东部第十二部隊						
仕官採用年月日							
備考							
號							

營業第三〇七號

昭和二十年二月廿日

通

昭和二十年二月十二日
業務課長

各局 一 般 般

軍籍事項調査ニ関スル件

昭和十八年十一月廿七日附海航標第一二八號ヲ以テ通牒置ル首題ノ件ニ関シ届出ヲ怠ル向アリ処理上支障有之候ニ付テハ本年限リ二月末日當課必着テ申シ軍籍関係者全員(含雇傭人)各々左記書式ニ依ル個人別調査表提出相成度
追而今後ハ何分ノ通牒アル迄採用、任官シタル場合又ハ軍籍事項ニ異動ヲ生ジタル場合ハ外ハ本調査表提出ノ要無之、尚本通牒ニ抵触スル從前ノ通牒ハ之ヲ廢止ス

第八號ノ内 記

在郷軍人調査票

官職名	氏名	生年月日	本籍地	後種	徴集年	任官年		兵種官等級	師管名	聯隊區名	特養	現役	應召	現役入營部隊名	應召部隊名	任官採用年月日	備考	
						至	至											
						昭和	昭和											
						昭和	昭和											

裏面白紙

海務院

昭和廿年三月 壹日

海務院 根 山 祥 男

燈臺局長 森田富士助 殿

岡野禮識 技手入宮ニ関スル件

貴台在勤 岡野禮識 技手ニ対シ 別紙寫ノ通、現役兵澄言、
通達下リ三月九日入宮ニ付キソノ準備、却令モアリ 般郷致方キ旨
申本有ニ候條、本日出奔致キニ候ニ付 御承忍 相成ヌ

號

九

裏面白紙

海務院

現役兵證書

千葉聯隊區

千葉縣印旛郡白井町

六五 豊吉三男

通信兵 岡野 岩雄

右現役ニ徴集シ左ノ通入營ヲ命ズ

一入營部隊 満洲 八。六部隊

二入營部隊 所任地 大阪市

三入營期日及時刻 昭和三年三月九日 凡時

昭和十九年八月十日

千葉聯隊區司令官印

號ノ内

第九

裏面白紙

海務院

昭和二年三月一日 野島崎燈臺

標識投午岡野岩雄

燈臺局長森田富士助殿

三月一日九時

事由 入燈台

第九號ノ内

道榮第 三九七號 通 牒

昭和二十年二月二十三日

昭和廿年參月五日

業 務 課 長

各 所 一 般

敵襲ニ依ル被害防遏ニ關スル件

物屋ヲ付ム敵機ハ不遜ニモ遂ニ本土ヲ巨ルニ〇〇軒ノ皇土硫黄島ヲ
侵寇スルニ至リタル爲、今後ノ敵襲ハ一段ト熾烈化シ取ハ本土上空ハ
主戦場ト化スルヤモ難訂情勢ニ在リ、此ノ秋ニ當リ各所員ハ國防ノ第
一線ヲ死守シテ皇國ニ殉ズル意氣ヲ以テ業務執行ノ事ト被患料モ從前
ノ敵空襲ノ實例ニ似スルニ敵ハ兎角航路線施設ヲモ銃爆撃ノ目標ト
爲シ、敵機ノ襲撃ハ尙有之ニ付テハ厄以テ予想セラル、箇所ニ於テハ婦女子ヲ

疎開セシムル等ノ措置ヲ講シ又防空壕ヲ強化シテ待避時ニ於ケル措置
ヲ誤タザル様スルハ勿論非常時ニ備フル適切ノ措置ヲ講シ置キ之ガ
被害防遏ニ付遺憾ヲキヲ期セラレ度

裏面白紙

海 務 院

昭和廿年參月五日

野島崎燈臺

業務課 御中

神尾標識技手履下事項異動ノ件
 曩ニ魚線通信士二級資格詮衡檢定申請中ナリシ神尾標識
 技手ニ對シ今般別紙寫通、合格證書、送付有之ニテ條
 及御届候

第 一 一 號

裏面白紙

第F一九三一號

無線通信士免許格付合格證書

字

千葉縣

神尾武彦

第一級 第二級

右者無線通信士免許格付合格證書規則に依り前記等級ノ資格
ナル事ヲ證明ス

本合格證書國際電気通信條約附屬一般無線通信規則
規定ニ依り第一級證明書ニ該當スルコトヲ證明ス

昭和二十年六月十四日

運輸通信省

印

第一號ノ内

裏面白紙

海務院

三四 昭和十九年十一月十八日

業務課長殿

郵多摩町台長 榎岸祥男

無線通信士資格検査規則施行

中、件十九年八月五日、附燈業第一四七九号、通牒中、裁、町特

例（三級有資格者ニシテ五年以上在通信士之者）ノ該者有ト

之テ本台、神、度、牌、識、技、手、有、之、下、人、交、詮、辯、ノ、希、望

有、之、ト、条、右、二、級、無、試、験、詮、辯、ノ、必、要、ト、シ、割、係、重、額

書、式、其、他、考、考、事、項、等、至、之、即、同、報、相、承、ホ

函ノ内

裏面白紙

海務院

國民學校初等科卒業届

標識技手 根岸 祥男

昭和廿年四月壹日

燈臺局長 森田富士助 殿

一 標識技手 根岸 長文

一名 女 生年月日 敦子 昭和七年六月二十九日

一 卒業年月日 昭和二十年三月

一 學校名 平塚國民學校

第

一
二
三
號

裏面白紙

海務院

國民學校初等科入学届

昭和廿年十一月一日

標識技手 神尾武彦

燈基局長 森田富士助 殿

一 標識技手卜續柄 長男

二 名 及 生 年 月 日 桂 司 昭和十三年七月二十日

三 入 学 年 月 日 昭和二十年四月一日

四 学 校 所 在 地 及 学 校 名 千葉縣安房郡白濱所 白濱國民学校

第一三號

昭和廿年四月拾日
昭和二十年三月二十五日

金額	野島	職名	俸給	氏名	備考
二〇三	勤地	標識技手	一級	根岸祥男	
一一九		標識技手	五級	佐々木直文	
一一九		標識技手	五級	神尾武彦	
八七		技術員	六二	里貝敏子	
		技術員	五五	木曾巳之吉	
		技術員	五五	木曾	


第四號右職務格別勉勵二付賞與

564
565

裏面白紙

野島埼燈台長 殿

昭和二十年
四月二十六日

氣象係 

共第二號

燈台局

波浪觀測資料提出方、關スル件

本件左記資料必要トナリタルニ付氣象月報、該當欄ヨリ摘記
ノ上來ル五月十四日頃迄ニ當係ノ到着スル様發送相成度
追テ報告用紙ハ別紙、通及添附候

記

昭和十七年ヨリ昭和十八年迄ノ波浪風向風力及天氣
ノ各觀測値

五月十日迄送付

第一五號

裏面白紙

終給支拂證書

昭和廿年四月九日

①

滿洲第八六部隊本部官吏
陸軍主計中尉 西尾 篤三郎 印

千葉縣安房郡白濱町
島崎 無線羅針向 御甲

左記通給終給支給セリトシテ證明ス

左記

官等及氏名 陸軍二等兵(乙類) 岡野 岩雄

(六隊)年月日 昭和二十年三月九日

支給額(右俸)自三月今月額一全六圓也

五月十日迄局へ原金送付ス

第一六號